

第2学年社会科学習指導案

日 時 平成20年9月12日(金) 2校時
学 級 盛岡市立下橋中学校 2年3組
(男子14名 女子16名、計30名)
授業者 鈴木 久美子

1 単元名 「Très bien!」～フランスの「ここが凄い!」を伝え合おう～

2 単元について

本単元では、フランスを取り上げ、「地理的事象を見出して追究し、地域的特色をとらえさせるとともに、国家規模の地域的特色をとらえさせる視点や方法を身につけさせる」ことを主なねらいとしている。

フランスは観光・フランス料理・ファッションのブランド・自動車など生徒たちにとってもひきつけられることが多い国の一つである。学習指導要領(地理的分野)において目標の(2)には「日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとかかわり度とらえ、それを地域規模に応じて環境条件や人間の営みなどに関連付けて考察し、地域的特色をとらえるための視点や方法を身に付けさせる。」とある。フランスについては日本の日常生活で手に入る資料も収集させうえて、フランスが他の国と比べて特に目立つものを上げさせ、それらを地域の環境条件、他地域との結びつきに留意したり関連づけたりするなかで多面的・多角的に地域的特色をとらえさせる方法で追究させようとする。

また、目標の(4)においては、「・・・様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。」とある。生徒たちには、1・2年でのこれまでの学習をもとに資料を収集させ、本単元のまとめとして、収集した資料を適切に判断し活用させフランスの自分たちが凄いと感じた項目を主体的に自分の頭でしっかりまとめなおさせ、ポスターとして自分たちなりの方法で表現する活動をさせたいと考える。

3 生徒について

生徒は、これまでに「世界の様々な地域の調査」の学習としては、「多様な姿を持つアメリカ合衆国」、「世界一の人口をもつ中国」について学習した。

これらの学習においては、統計資料や地図等を利用し、資料の分析からそれぞれの国の特色を追及し、アメリカのまとめとしてレポートを、中国のまとめとして新聞を個人で作成した。

生徒の地理的事象に対する関心は高いとはいえず、一般的な知識も少ないが授業に対する意欲は低くはない。

しかし、2年3組は、自分の考えを述べるのが苦手な授業中の挙手もほとんどない。指名して用語等決まった答えを求めると答えるが、自分の考えやその考えに至る理由を述べることも、また、他の生徒の意見を聞いて練りあうことを大変苦手とする学級である。協同的な学びの効果を上げるためにも、小グループの協同学習を仕組んで学級の協同性を高める必要を感じる。

4 指導の構想

授業では、3・4人のグループに分かれてフランスの特色を調査し、学級の生徒に自分たちがフランスの「ここが凄い!」ととらえた点を紹介するという形で授業を進める。調査の段階では、フランスの「ここが凄い!」と思われるところ、懂れる点、興味をひかれる事柄を探し、日本と比べ、日本の今後の発展に生かせるところはないかを考察させる。

世界の国々の三つめの事例であるが、フランスに関する資料は、教科書・資料集・地図帳にインターネットの利用の他に、日常的に日本で手に入る旅行会社や化粧品・車のパンフレット等も収集させ、国の特色をとらえ、結びつきを感じさせる手がかりの一つとさせたい。

生徒たちは、先に学習した二つの事例で資料を分析・使用した経験をもとに、今回は「Très bien!」～フランスの「ここが凄い!」を伝え合おう～という課題でフランスに関連した資料を収集し、情報を整理して「ここが凄い!」と考える特色を選択する。習得した知識・技能を活用し、資料から、自分たちの頭でイメージをまとめ、伝えたい事柄を効果的に表現する方法のあり方を工夫する。

また、小グループでの作業を取り入れて、それぞれの考えを練り合い協同学習を深めさせるとともに、簡単にでも自分たちの考えや工夫を発表させる機会を度々あたえ、学級での協同学習の基盤をつくっていきたいと考えた。

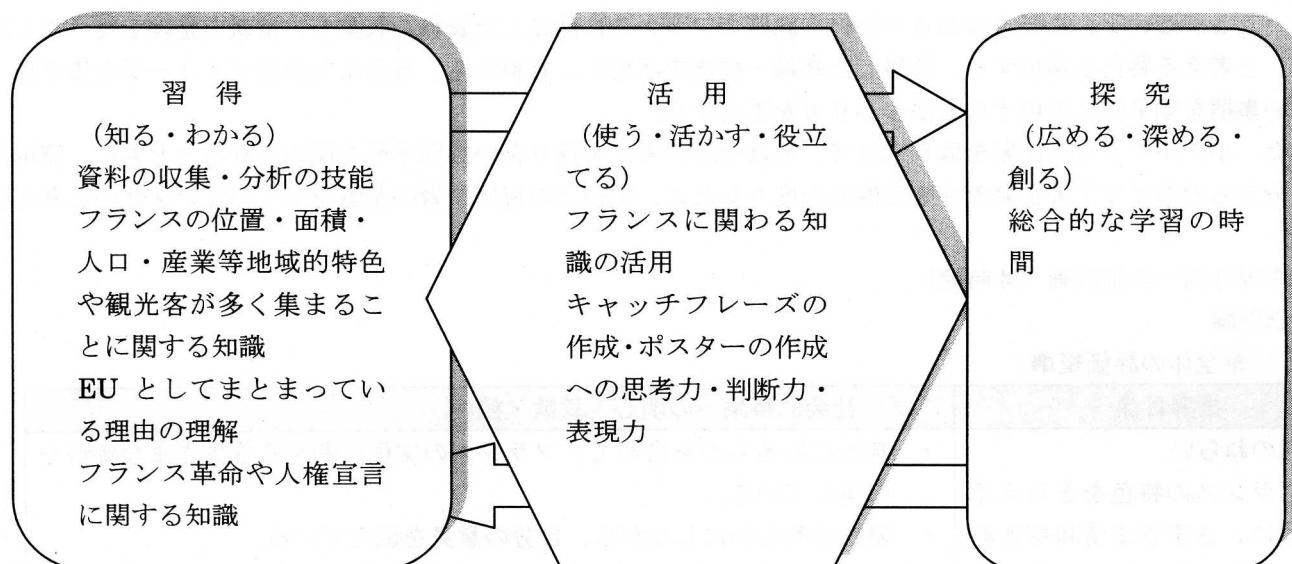
5 指導計画・評価計画（4時間）

評価計画

(1) 章全体の評価規準

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度
<p>単元のねらい</p> <p>フランスの特色をとらえるために、さまざまな情報を比較して、有用な資料を収集・活用できるようにさせる。</p> <p>資料からフランスが農業も工業もさかんであることを理解させる。</p> <p>多くの観光客が集まる国であることを理解させ、その理由を考察させ、習得した知識・技能を活用する効果的な表現方法のあり方を工夫させる。</p> <p>フランスの地域的多様性やヨーロッパ各国との密接な結びつきについて、適切な地理的事象と関連づけて考察できるようにさせ、国家規模の地域的特色をとらえさせる視点や方法を身につけさせる</p> <p>フランスの特色から、日本の今後に生かしたい事柄を考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身近にあるものを含めて、フランスの文化に関するさまざまな資料を収集している。 根拠を明らかにしながら、自分の意見を伝えている。 いろいろな意見や考えを取り入れながら、自分の考えを意欲的に練り上げている。
	<p>社会的な思考・判断</p> <ul style="list-style-type: none"> フランスが多くの観光客が集まる国であることの原因を多面的・多角的に考察している。 フランスの産業の地域的多様性を、自然条件や原料などに関連づけて考察している。 フランスから学びたいこと、日本の今後に生かせる事項を的確に考察している。
	<p>資料活用の技能・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> フランスの特色を、地図や統計などの資料から読み取ることができる。 さまざまな情報を比較して、有用な資料を選択して適切に活用している。 「これは凄い!」と選択したことがらを印象づける表現ができる。
	<p>社会的事象についての知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 他国と比較して、フランスの地域的特色を理解し、その知識を身につけている。 フランスとヨーロッパの国々との関連や結びつきについて、知識を身につけている。

(2) 単元における「習得」「活用」「探究」の学びの流れ



(2) 単元の指導計画

時間	おもな学習内容	学習目標	評価規準
第1時	1 フランスの位置や特色を比べる ・ 位置 ・ 面積 ・ 人口 ・ 産業	主題図や統計などさまざまな資料を比較することによって、国の特色を浮き彫りにすることができる。日本や他国との比較から、フランスの地域的特色を把握する。	主題図の統計など有用な資料を選択・活用して、フランスの特色をとらえている。(技術・表現) 他国と比較して、フランスは農業も工業もさかんであること、多くの観光客が集まる国であることをつかんでいる。(知識・理解)
第2時	2 集めた資料を分類して特色を見つける ・ 生活(料理・ファッションなど) ・ 歴史(遺物・偉人など) ・ 文化(絵画・文学・音楽など) ・ 自然(地形・気候) ・ 産業(農業・工業)	フランスについて集めた資料を、自然、産業、歴史、芸術、生活などの項目に分け、それぞれの特色を見つける。	日々の生活のなかに見ることができるフランスの文化に関するさまざまな資料を収集している。(関心・意欲・態度) 世界中から観光客が集まってくる理由を、美しい自然のほか、美術、フランス料理や街並みといった長い歴史の中で形成されてきた文化などに着目してとらえている。(思考・判断)
第3時(本時)・4時	3 フランスの特色をポスターにする ・	キャッチフレーズと資料を組み合わせ、フランスを紹介するポスターを作成する。 ポスターを用いて各グループのまとめを発表する。	見つけた特色を、根拠のある理論的な思考に基づいて的確に表すキャッチフレーズを工夫している。(知識・理解) ポスターに有効な資料を活用している。(技能・表現) 他グループの発表と自分のグループの発表を比較し、良さや改善すべき点を見つけることができる。(思考・判断)

第4時	4 フランスとヨーロッパの国々 の関連を調べる	比較した事象や特色、結びつき等をまとめ統合して、国の特色をまとめる。 伝統を大切に、伝統を生かして世界に進出するフランスから日本が学ぶべきことをまとめる。	EU としてまとまっている理由を、交通や人々の生活、歴史的背景などさまざまな視点からとらえている。(知識・理解) これからの日本についても意欲的に考えている。(関心・意欲・態度)
-----	----------------------------	--	--

6 本時について

(1) 主 題 フランスの特色をポスターにしよう

(2) 目標パフォーマンス課題、ルーブリック

指導目標	<p>① 根拠のある自分の考えをもち、納得できる理由を示しながら積極的に自分の意見を述べることができるようにさせる。(関心・意欲・態度)</p> <p>② 見つけた特色を、根拠のある理論的な思考に基づいて的確に表すキャッチフレーズを工夫することができる。(思考・判断)</p> <p>③ 収集した資料からフランスの特色を表す有用な資料を活用し「フランス」を印象付けるポスター作成することができる。(技能・表現)</p>
評価目標	評価方法
自分の考え、友人の考えに対して感じたことを積極的に述べようとする。 (関心・意欲・態度)	◎「パフォーマンス課題」 収集した資料からフランスの特色を表す有用な資料を選択し、ポスターを作成する。
フランスの特色を、適切なキャッチフレーズに表すことができる。 (思考力・判断力)	
有効な図・地図や絵・写真を用いてポスターにまとめることができる。 (技能・表現)	

学習活動	評価項目	評価する活動資料	ルーブリック			
			A	B	C	D
グループの話し合い	関心 意欲 態度	ワークシート グループ活動	自分の考えを理論的な根拠を明らかにしながら、意欲的に説得力のある意見を述べ、他の意見を聞きながら再構築することができる。	ワークシートに記入した自分の考えを根拠を明らかにしながら述べることができ、他の意見も取り入れることができる。	自分の考えの根拠を述べることができない。求められればアイデアを出し、活動に参加しようとしている。	アイデアをまったく出さず、聞き役にまわっている。活動に対して、消極的な関わりになっている。
特色を表すキャッチフレーズ	思考 判断力	ワークシート ポスター	資料をもとに、明確な根拠のある、引き付ける、	資料をもとに、根拠があり特色を示す、分かり	資料をもとに、根拠のある特色を示すキャッチ	キャッチフレーズに資料にもとづいた根拠が見

ズ			重要な特色を示すキャッチフレーズをつくることができる。	やすいキャッチフレーズをつくることができる。	フレーズをつくることができる。	られない。キャッチフレーズが重要な特色からずれている。
ポスターの図等の	技能・表現	ワークシート ポスター	理解したことをまとめ、わかりやすく表現している。 効果的な資料を選択し的確に表すことができる。 重要度にあわせて目を引くように工夫してある。 デザインにも魅力がある。	理解したことをまとめ、わかりやすく表現している。 有効な資料を選択し、わかりやすく表現できる。 デザインにも魅力があるが情報の重要度が明確でない。	理解したことや盛り込むべき内容は含まれているが、表現が情報の羅列で内容を理解しにくい。	盛り込むべき内容が十分表されていない。的確な資料を選択することができず、情報量が不足している。

(3) 本時の構想

本時は調査学習で調べた情報を整理し、～ここが凄い～ととらえたフランスの特色のなかから小グループで自分たちが興味をもったテーマを選択し、みんなに紹介するために効果的な表現方法を工夫する時間である。

これまでの二つの国の事例で探った課題や資料の収集、資料を分析しその地域の特色を探す活動の経験をもとに、資料を集め、そのなかから有用な資料を選択し活用して、フランスの特色を表現するポスターを作成することになる。生徒たちは収集した資料の中から選択した情報を、グループの中で話し合い精選し、協同でイメージを膨らませ、ポスターに表現しなければならない。短いキャッチフレーズに情報を凝縮していくために、自分の考えをグループのメンバーに根拠も明確に伝えていく必要がある。今まで取り組んできたレポートや新聞というかたちより、より、協同的な作業が必要になり、簡単には作業を分担できなくなると考える。小グループであることの気軽さを生かすことができ、また、少人数であるため一人ひとりの個人の責任も大きくなりどの生徒も自分の意見が述べやすくなる。小グループでの協同学習を積み重ね、学級の協同性を高めることにつなげたい。また、学級の実態から、作業の進め方や発表の仕方については、簡単なマニュアルを示し、練習を積み重ねたい。

(4) 展開

段階	学習内容	学習活動	時間	○留意点 ☆評価	◆資料
導入	○学習の意欲化	1 前時の資料から関心を持ったフランスを紹介するのにふさわしい特色を発表し、本時の学習への意欲化を図る。 ① 収集した資料の一部を提示しながら、各グループが選んだテーマとその理由を発表する	8分	◆前時のワークシート ◆収集した資料 ○資料の分析からフランスの特色を挙げることにとどめず、自分たち日本人の目から、興味をもてるフランスの特色を意識させたい。	

	○本時の学習内容の確認	2 本時は フランスを紹介するポスターを描く時間であることを確認する。 ポスターづくりのポイントを確認する。		
展 開	○ポスターの構成	① フランスを印象付けるポスターにするには何を描くといいか考える。 ② フランスの自然や歴史、産業などの特色が分かるキャッチフレーズを工夫する。 ③ 絵や写真、地図や図表の有効な活用を考える。	20分	◆収集したフランスの資料 ○資料を読み取り、自分の頭で考え、膨らませたイメージを整理させ、自分なりのアイデアを持たせたい。 ○自分のアイデアをしっかりとちながら、集団で練りあっていく態度を身につけさせたい。
	○各グループのポスターの構想	3 用紙に鉛筆でキャッチフレーズ、地図などの大まかな配置を考え、書き入れる。		☆自分なりの適当なアイデアを持つことができたか。 (思考・判断)
		積極的に話し合いに参加できたか(関心・態度) 引き付けるキャッチフレーズはできたか(思考・判断) ポスターに的確な表現ができたか(技能・表現)		
	○各グループのポスターの構想の発表	4 キャッチフレーズと作成中のポスターの工夫点を発表する。 作成中の地図や図表も紹介する。 他のグループのポスターについての意見を評価カードに記入する。	12分	☆グループの中で進んで考えを述べることができたか (関心・意欲) ☆特色を表すキャッチフレーズをつくることができたか(思考・判断力) ☆効果的な資料の活用ができたか(技能・表現)
	○各グループのポスターの改善	5 互いの工夫点を知り、自分たちのポスターの参考にして、練り直しを行う。		☆各グループのポスターに的確な評価ができたか(思考・判断)
		よりよいアイデアを工夫することができたか(思考・判断)	7分	◆評価用紙
終 結	まとめ 次時の予告	本時のまとめを行う。 次時までの作業の確認を行う。	3分	◆評価ポイントチェック表